

社会福祉法人 ^{鳥取県} 済生会支部埼玉県済生会栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-10 : MERS		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 10-001-170901	ページ	2 / 5

K-10 : MERS (中東呼吸器症候群)

<概要>

- ・感染経路 : 飛沫または接触感染 (エアロゾル発生時は空気感染)
- ・潜伏期間 : 2~14 日
- ・基礎再生産率 (Ro) : 0.6~0.7
- ・症 状 : 発熱、咳、息切れ (消化器症状を伴う場合もあり)
- ・治 療 : 対症療法

<疑似症患者の定義>

①症状・所見

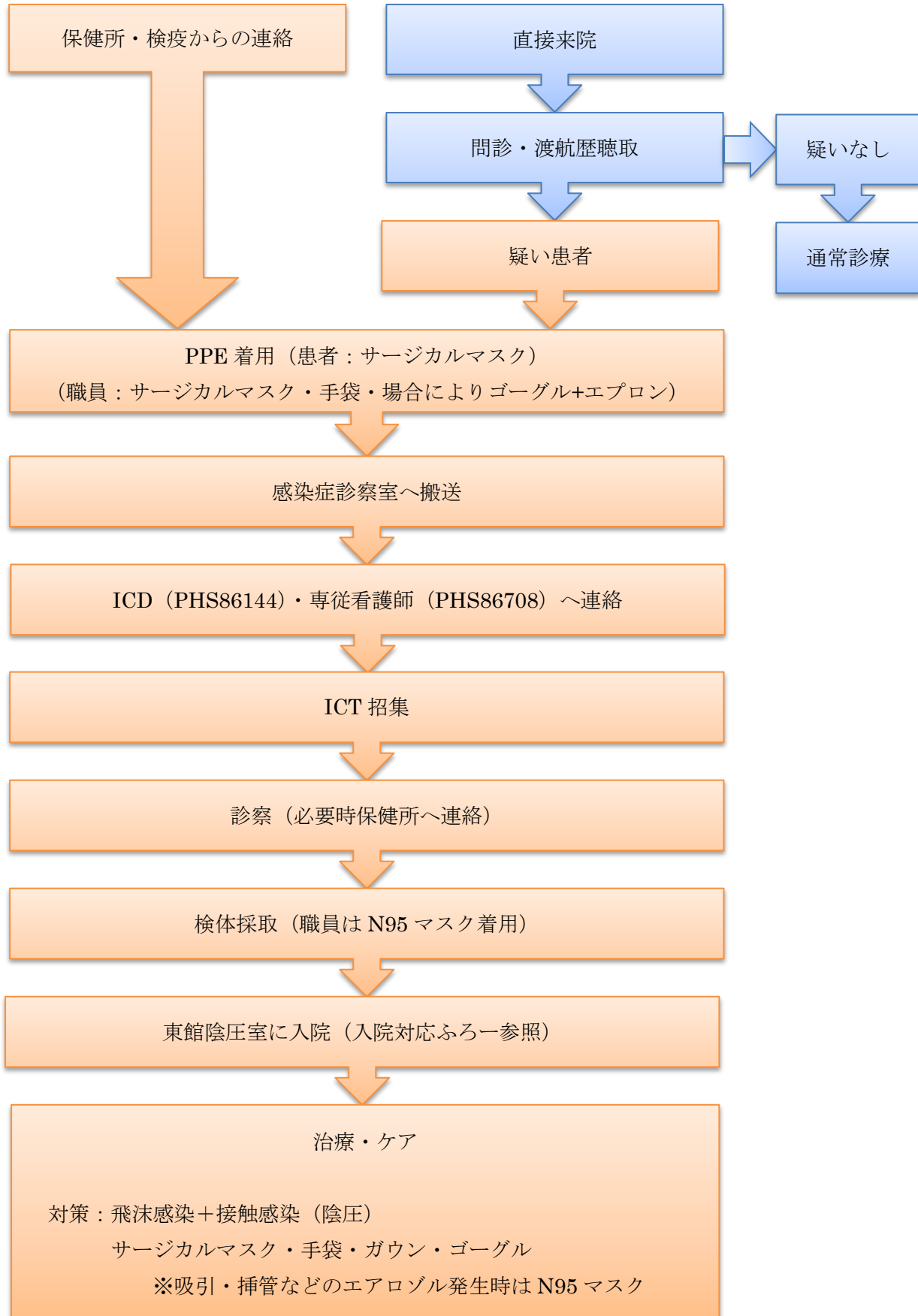
- ・ 38℃以上の発熱 (悪寒がある場合も発熱とみなす)
- ・ 咳を伴う急性呼吸器症状 (軽症を含む)
- ・ 肺炎・ARDS が疑われる

②14 日以内にアラビア半島 (その周辺諸国) で医療機関の訪問、MERS 確定患者との接触、ヒトコブラクダとの濃厚接触歴があるもの

③14 日以内に韓国で MERS 疑い患者のケア、同居等で体液等に直接接触したもの

社会福祉法人 群馬県済生会支部 埼玉県済生会 栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-10 : MERS		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 10-001-170901	ページ	3 / 5

<MERS 対応の流れ>



<入院対応フロー>

I. 対応スタッフは、サージカルマスク（状況によって N95 マスク）着用

（入室前に着用・*退室後全て廃棄）

*接触感染の可能性もあるため、サージカルマスクも外す度に廃棄

II. 必要物品

- ①PPE サージカルマスク（N95 マスク）・手袋・ガウン・ゴーグル
- ②感染性廃棄ボックス（プラスチック）
- ③アルコールディスペンサー（手指衛生）
- ④サージカルマスク廃棄用ボックス



III. PPE 着用手順

①病室前に PPE を設置し、病室前で着用

手指衛生後、ガウン→サージカルマスク→ゴーグル→手袋の順で着用

IV. PPE 脱着手順

②病室内で手袋→手指衛生→ゴーグル→ガウンを脱ぐ

③手指衛生

④病室を出てからサージカルマスクを外しボックスに廃棄

⑤手指衛生

V. 環境整備・物品の管理方法については、標準予防策＋空気・飛沫・接触感染予防策を

実施する（物品は可能な限りシングルユース製品を使用する）

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会 栗橋病院			
文書名	院内感染防止対策マニュアル K-10 : MERS		
文書番号	感対-共手-K 疾患別予防策 10-001-170901	ページ	5 / 5

<入院搬送ルート>

I. 病室

1. 360・361・460・461号室の空床ベッドに入院
 2. 陰圧機能を作動させる（詳細は院内感染防止対策マニュアル M-1：陰圧病室運規定参照）
- ※ICU 個室は全て陽圧換気のため入室は不可

II. 搬送ルート

以下の2ルートを使い、南口エレベーターで病室に移動する

ルート1 (院外入院ルート)・・・通常使用

ルート2 (院内入院ルート)・・・重症患者搬送時。搬送前に周辺患者を退避



済生会栗橋病院 1階

平成25年4月1日現在